

事業所名

さわやか愛の家 あかいわ館

支援プログラム

作成日 2024年10月1日

法人(事業所)理念		『慈愛の心 尊厳を守る お客様第一主義』					
支援方針		「楽しく学ぶ心と体~未来に向けて!」の言葉を元に活動や余暇を通して楽しみながら学び、未来に向けた療育を行います。児童の発達や障害特性・行動特性に合わせ、個人の適応能力の維持向上を目指し、また必要に応じて機能訓練士による個別での訓練により適切な技能を発達させるため正確な評価を行い実施いたします。生活にわたる地域に根ざしたサービスと支援を行います。日々共に過ごす集団の中で、ぶつかり、共同する生活を通して自分を知り、他者を知ることにつなげ、子ども自身の仲間づくりも行っていきます。その仲間集団に支えられ、良い時も悪い時もありのままの自分を受け止めてもらい、本来の自己肯定感を育み、自ら考え判断して行動につなげる社会性を育てていきます。支援内容については事業所の個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化した上で提供することを求める内容となっています。					
営業時間		平日 9時 30分から 18時 30分まで	学校休業日等 9時 00分から 18時 00分まで	サービス提供 (平日) 15時 45分から 17時 30分まで	サービス提供 (学校休業日等) 10時 00分から 15時 00分まで	(16時30分まで延長可)	送迎実施の有無 あり なし
プログラム例		支援内容					
もの作りなど (制作療育)	健康・生活	ハサミなどの様々な文具や道具を使い、手や指の細かい動きを行うことで手指の使い方や力加減が学ぶことができます。指を使うことで脳の刺激が増えるように作業を考え、脳の活性化に繋がっています。					
	運動・感覚	紙や布などの材料を使うことで触覚を楽しみながら、指で感じる様々なものの粗さや硬さ、温度、材質などを判断する感覚を高めます。切る、貼る、折る、丸めるなどの動作を行うことで、日常生活動作をスムーズに行えて生活の質の向上を目指します。					
	認知・行動	手順表の手本や実物見本などを見て、形や長さ、間隔などの概念を身につけます。絵や模様を描いたり、形を変えるなどの工夫や発想を広げられる支援をします。					
	言語コミュニケーション	発達や障害特性・行動特性に合わせたコミュニケーション方法(絵・写真カード、タブレット、口頭)で指示に合わせて作業を進め、分からない時や困った時に指さしや口頭などで伝えられる経験を積みみます。 ・集団・小集団での活動の中で、思いや考え、分からないや困ったの気持ちの伝え方を学びます。					
	人間関係・社会性	作業の中で褒めあったり、アドバイスをしたり、協力をしながら社会的な場面を経験します。 ・他児童との関わり方も学べる場になります。					
おやつ作りなど (食事療育)	健康・生活	自分が食べるものを実際に調理し、食への興味を高めるようにして好きなものを作ることで食事への楽しみが深まり、苦手な食べ物の克服へ繋げる支援を行っています。 ・食事の準備、後片付けなど、生活面での自立を目指します。					
	運動・感覚	食材の触覚を楽しみながら、指で感じる様々なものの粗さや硬さ、温度、材質などを判断する感覚を高めます。 ・食材の準備、調理、盛り付け、後片付けなどを行い、役割感や興味・関心などをもって手段的日常生活動作の習得を支援します。					
	認知・行動	手順表から材料、数量、作り方の情報を読み取り、実際に作って量の調節や加減の感覚を学びます。 ・料理機器を実際に使用して操作方法を学びます。					
	言語コミュニケーション	頂きます、ご馳走様などの食事のマナーを教わりながら、楽しくコミュニケーションをとりながら食事の楽しみを共有するという経験をします。 ・好き、嫌い、お代わり、食べられないなどの自分の気持ちを伝えて、他児童や他者とのやり取りを学びます。					
	人間関係・社会性	食べ物の生産過程を知り、一緒に食べる楽しみを味わい、感謝する気持ちを育てます。 ・他児童と協力する力・順序立てて考えていく力を培うよう、自分に合った量を知る、平等に分ける、美味しく見せるとい自分を知り、他児童を思いやる気持ちも育てます。					
サーキット・体操など (運動療育)	健康・生活	自分自身の体のコントロール方法を学び、自分自身のイメージと力加減のズレを減らすことを様々な運動経験を通して学びます。 ・運動で十分に体を動かしてパワーを発散させ、ストレスを減らして生活へ繋げる支援を行います。					
	運動・感覚	姿勢を保ったり、移動したり、走る、歩く、飛び跳ねる、座る、立つ、体を捻るなどの粗大運動や細かい動き、小さなものを掴む動き、手、指、脚などを使って行う微細運動を用いて、体のコントロール能力を高め、バランス感覚を養う運動をします。 ・タイミングよく体を動かすことで、協調運動能力を高めます。					
	認知・行動	リズムに合わせて体を動かす、簡単なボール運動やバランスボードで立つ、障害物を越えるなどを楽しみながら全身の協調性を高めます。 ・「できた」という体験を増やせるようにプログラムの内容を慎重に考え「できない」を限りなく減らして、自己肯定感の向上を目指します。 ・動くもの(ボールや人)を目で追うことで、見る力や認知能力の向上を目指します。					
	言語コミュニケーション	他児が行っているのを応援する、褒めるなどの言葉かけなど発語の促しによる発語支援を行います。 ・体を動かすことで発語に必要な認知機能が向上し、「走る」「止まる」「跳ぶ」などの言葉を使い、これに従うことで言語理解力と発語能力が同時に鍛えられるよう支援します。					
	人間関係・社会性	相手の動きに合わせて運動を通して社会性の基本となる、相手を意識することや協力することを体験して思いやりの気持ちに繋げていく支援を行います。 ・ルールを守る、順番を待つなど社会性に必要なことを経験し学びます。					
買い物体験など (買物体験)	健康・生活	生活習慣の一部としての買い物やお金のやり取りなどで金銭感覚を学びます。 ・必要な物の買い物から自分の欲しいものへの欲求を管理する力を学ぶことができます。					
	運動・感覚	商品を選ぶ、代金の確認など視覚や触覚を使い、感覚統合の機会を提供します。					
	認知・行動	商品を買う、代金を払うと順序立てた計画が必要となります、数量の概念や問題解決の能力や判断力を養うことができます。 ・店内での規範に従う理性や集中力を育むことができます。					
	言語コミュニケーション	レジでのやり取り、困った時に店員さんへ聞く等、自分の思いを他者に伝える経験をします。また周囲の人の動きを意識するなど公共の場に応じた対人スキルを学びます。					
	人間関係・社会性	社会的なマナーを学び、順序を守るや他者との関わり方を体験します。 ・他児童と協力して商品を選んだり、話し合ったりして協調性や意見を主張する力、折り合いをつける力を身につけます。					
公共施設や公園など (外出療育)	健康・生活	施設にいただけでは得られない新しい経験をすることが良い刺激になり、成長するきっかけになります。 ・室内ではできない行動を楽しく体を動かすことで、ストレスの軽減や体力づくりになります。					
	運動・感覚	体で季節の香りや風、変化を五感で感じ、感性の形成を支援します。 ・季節の植物を見たり、動物に触れたり、実際に体験することで興味の幅を広げます。 ・公園など屋外で全身運動等を行い、体力・筋力・バランス能力の向上を目指します。					
	認知・行動	新しい経験の中で視覚や聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して認知機能の発達を促す支援を行います。 ・公共の場で周りの他者との関わり方やマナーを学び行動ができるように支援します。					
	言語コミュニケーション	場に合った言葉づかいや声量、関わる際の正しいアプローチ方法を学び対人スキルを体験し高めます。					
	人間関係・社会性	外出時のマナーを学ぶことで、将来にわたリスムーズに物事を運び力を身につけられます。 ・危険予知や危険予測を学べる場として、自ら危険を意識できるように支援を行います。					
家族支援	常に児童の様子をご家族に伝達し、安心して通していただきます。 ・保護者の就労を助ける為、送迎や延長支援を実施します。 ・悩みや相談などLINEや電話で受け付け、必要に応じて専門的機関へ繋がります。	移行支援	・インクルーシブ活動として休業日には地域の公園や商業施設を利用し、児童が将来に向けて地域で暮らすイメージを持ってよう支援します。 ・ライフステージの移行時には移行先事業所への丁寧な支援方法を伝達します。				
地域支援・地域連携	児童の様子を情報共有できるよう定期的に会議を開催します。 ・児童を中心に巻きこみ関係機関や関係者との連携をすることでこの成長をサポートし、将来地域で暮らして行く中で切れ目のない支援ができるようにしていきます。	職員の質の向上	・職員の知識と技術の向上のため、法人にて年間研修計画を策定しています。 ・月1回のスキルアップ研修の他、法人で虐待防止・身体拘束廃止や衛生管理の各種委員会の設置、定期的な委員会開催や研修計画に沿って研修を実施しています。				
主な行事等	初詣 節分 お花見 夏祭り 誕生日のお祝い ハロウィン会 クリスマス会						